蒸気加湿器 RS,EL 用　ファンユニット BP
取付・取扱説明書

目次　　ページ

1. 安全上のご注意 …… 1
2. 製品仕様 …… 2
3. 各部の名称 …… 3
4. 取付方法 …… 4
5. 試運転 …… 11
6. 運転方法 …… 11
7. メンテナンス …… 12
8. 異常なとき …… 12
9. 補修部品図 …… 14
10 補修部品表 …… 15

ピーエス工業株式会社　https://ps-group.co.jp

東京	東京都渋谷区富ヶ谷1-1-3	TEL:03-3485-8811	FAX:03-3485-8833
名古屋	名古屋市昭和区広路通5-9-3	TEL:052-838-5525	FAX:052-838-5526
大阪	大阪府吹田市垂水町3-16-3	TEL:06-6338-7151	FAX:06-6338-7187
福岡	福岡市博多区中洲中島町3-10	TEL:092-281-9200	FAX:092-281-9233
熊本	熊本市中央区中唐人町1番地	TEL:096-356-2201	FAX:096-356-2269

ピーエスグループ各社

札幌	北海道北広島市共栄41-3	TEL:011-372-7601	FAX:011-372-8886
盛岡	岩手県盛岡市愛宕町16-5	TEL:019-653-3780	FAX:019-653-3784
仙台	宮城県仙台市青葉区立町20-11	TEL:022-211-5431	FAX:022-211-5434
長野	長野県長野市若里1-23-11	TEL:026-228-4334	FAX:026-227-4328
新潟	新潟県新潟市西区小針6-61-13	TEL:025-230-6393	FAX:025-230-6394

※※※※※※※※※※

1. 安全上の注意

- ＜取付け及び取扱＞は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行って下さい。
- ここにしめした注意事項は、警告、注意に区分していますが、誤った取付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に警告の欄にまとめて記載しています。
  しかし、注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
  いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 取付工事完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって
  お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

⚠ 警　告

- 取付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼してください。
  ご自分で取付工事をされ不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- 取付工事は、取付説明書に従って確実に行ってください。取付に不備があると水漏れや感電、
  火災の原因になります。
- 取付は、重量に十分耐え、振動の無い壁面に確実に行ってください。強度が不足している場合は
  、機器の落下により、ケガの原因になります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の取付け工事を行ってください。取付け工事に不備があると
  転倒などによる事故の原因になることがあります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び
  本説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると
  感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部ケーブルの外力が伝わらないように
  確実に固定して下さい。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 配線は、浮き上がらないように成型し、端子台へ確実に締め込んで取り付けて下さい。
  端子台の締め込みが不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 改修、改造は絶対にしないで下さい。また、修理はお買い上げの販売店にご相談下さい。
  修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 水道法、消防法、高圧ガス取締法、毒物劇物取締法に規制される部材の取扱いについては、
  専門業者に依頼して下さい。

⚠ 注意

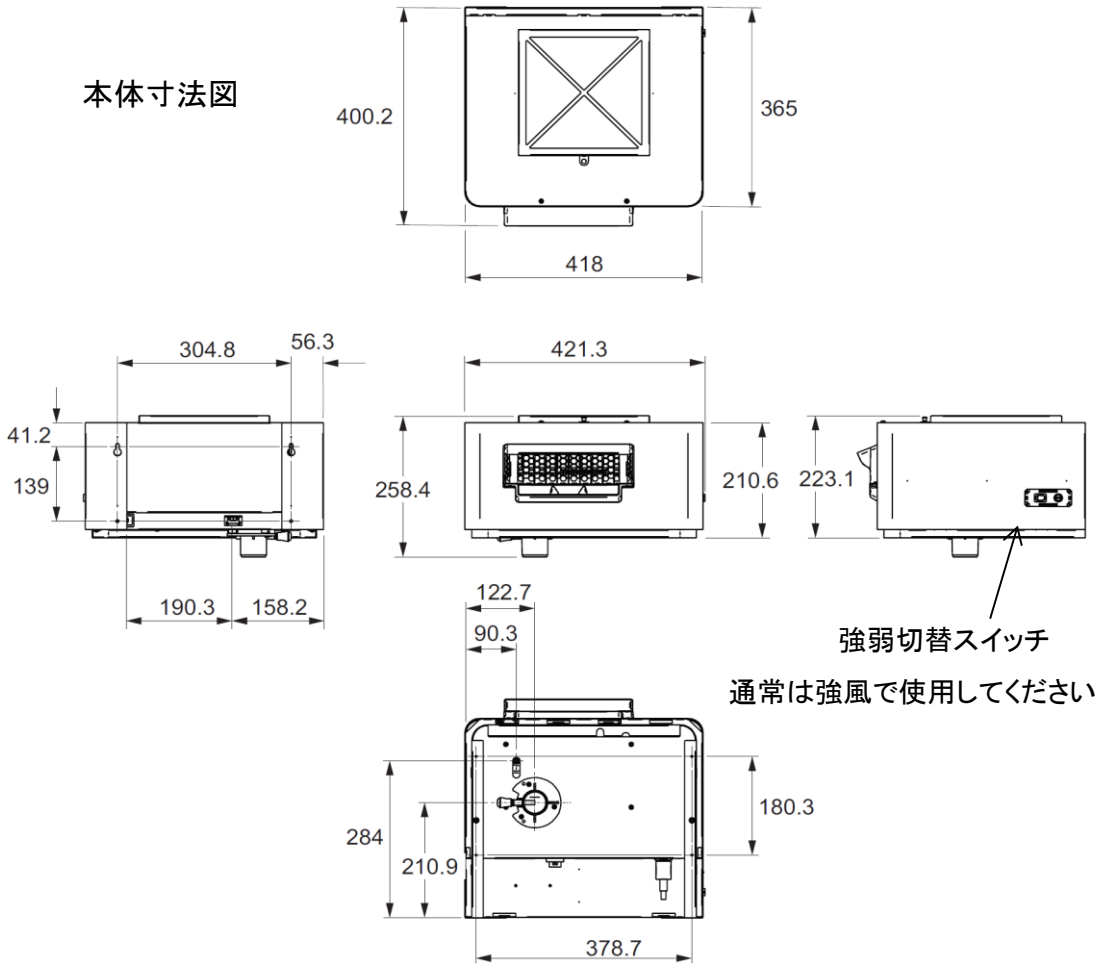
- アース工事を行って下さい。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。
  アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- ドレン配管は取付説明書に従って確実に排水するように配管して下さい。配管工事に不備があると
  水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。
- 長期使用で取付台等が痛んでいないか注意して下さい。痛んだ状態で放置すると機器の
  落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。
- メンテナンスをする時は運転を停止して、必ず電源を切って下さい。電源を全て切らないで
  メンテナンスをすると、ケガや感電の原因になることがあります。
  また、運転直後は非常に熱くなっており、触るとやけどの恐れがありますので、
  充分冷えてからメンテナンスして下さい。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しないで下さい。針金や銅線を使用すると故障や火災の
  原因になることがあります。
- ノイズにより誤動作する場合があります。インバーターやモーター等、ノイズを発生し易い機器の
  近くには設置しないで下さい。

2. 製品仕様

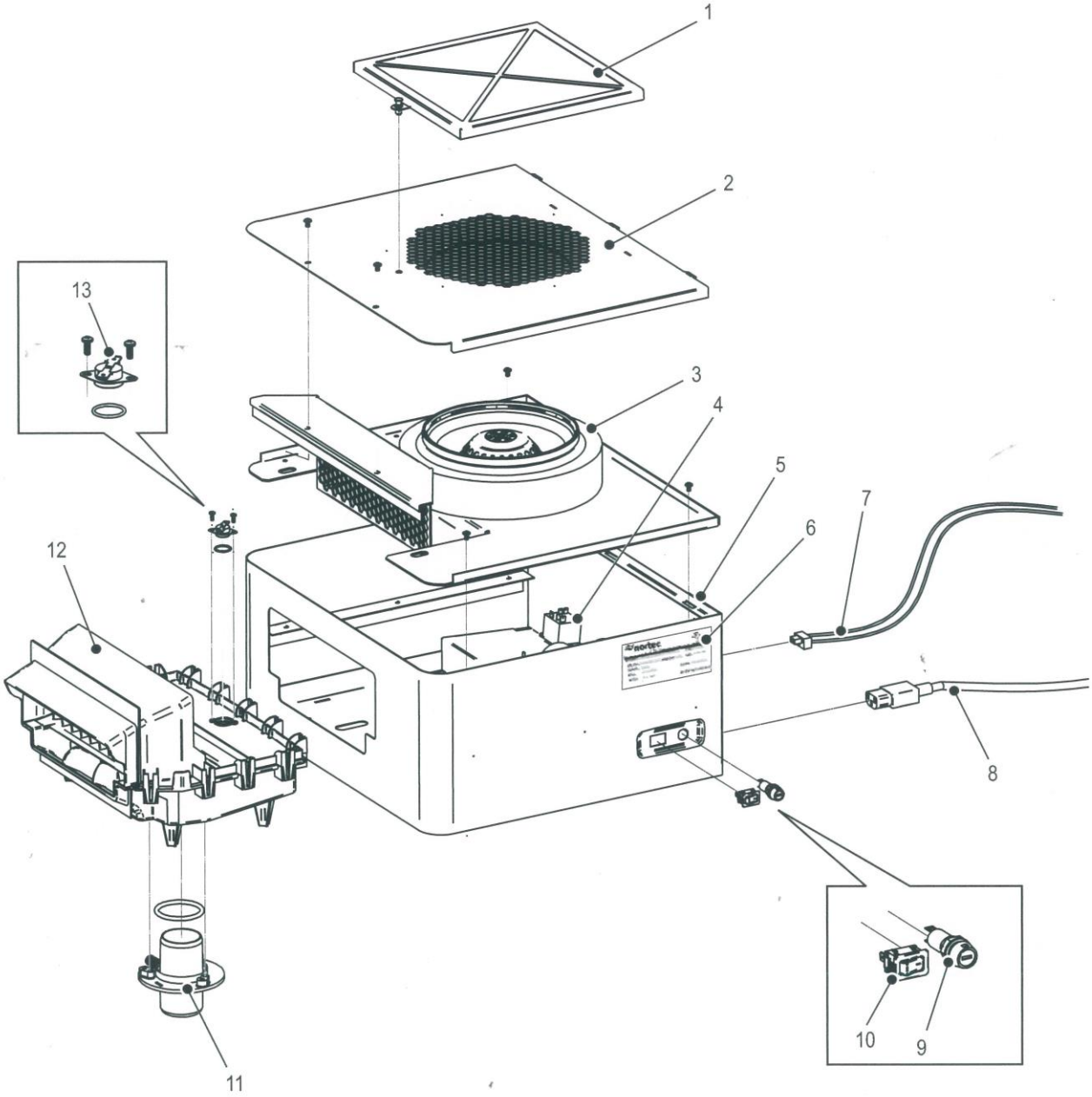
型名	ファンユニット　BP	
適用最大加湿量	30　kg/h	
電源電圧	1Φ200V 50/60Hz	
消費電力	108W	
騒音値	61/52dB(A)（強風/弱風）	
風量	562/392 m3/h (強風/弱風)	
重量	13kg	
外形寸法	巾421*高さ258*奥行400 mm	
付属品	蒸気接続管Φ45	1個
	凝縮水ホース　Φ8/Φ12　1.6m	1本
	ホースバンド　DS80用	2個
	ワイヤバンド　Φ8/Φ12ホース用	3個
	電源線　2.4m	1本
	信号線　2.4m	1本
	取付ねじ　Φ6	4本
	取付ねじ　M4×16　Φ4×10	各3本
	取付ねじ　M4×6	2本
	凝縮水ホースアダプター　Φ5/Φ10用　50mm	1個
	メクラキャップ	1個
	グロメット	1個
	インシュロック	3本
	取付・取扱説明書	1

注）蒸気ホースは別途手配が必要です。

本体寸法図



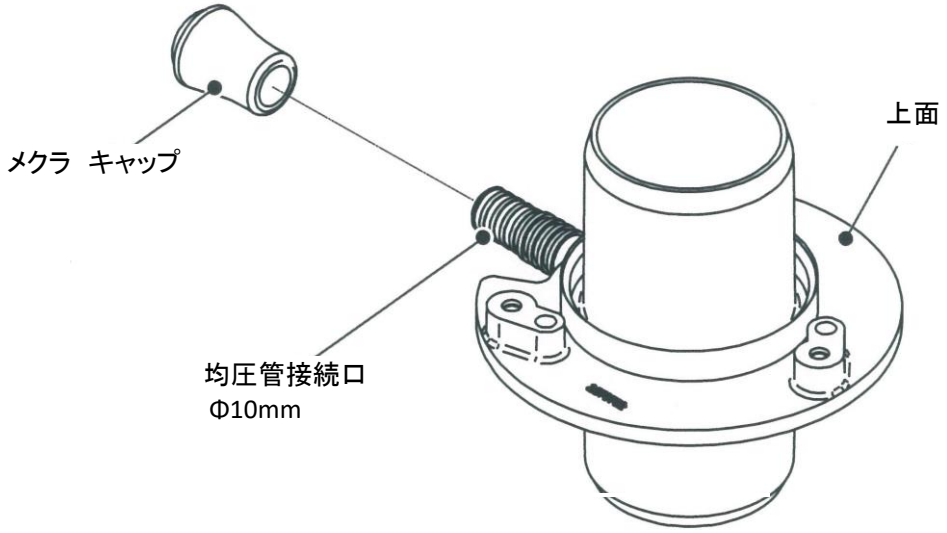
3. 各部の名称



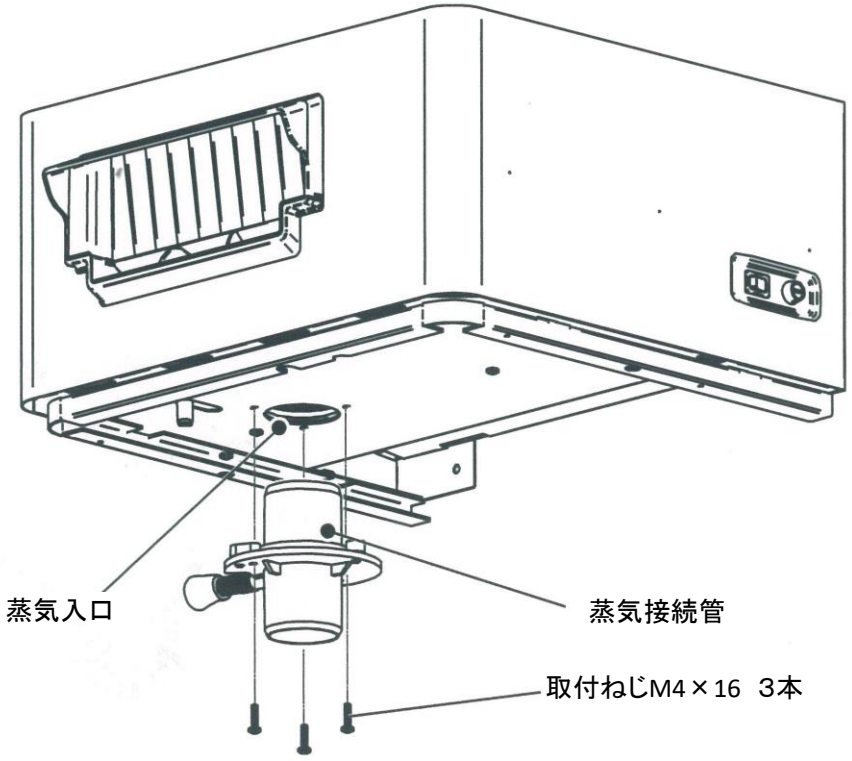
1　エアフィルター
2　天面カバー
3　ファン
4　インターロック用リレー
5　本体ケース
6　本体銘板
7　インターロック用信号線
8　電源線
9　電流フューズ4A
10　強弱切替えスイッチ
11　蒸気接続管
12　ディストリビュータ
13　発停スイッチ

4. 取付方法

4-1 蒸気接続管の取付



均圧管接続口にメクラキャップを差し込み、付属のワイヤバンドで固定してください

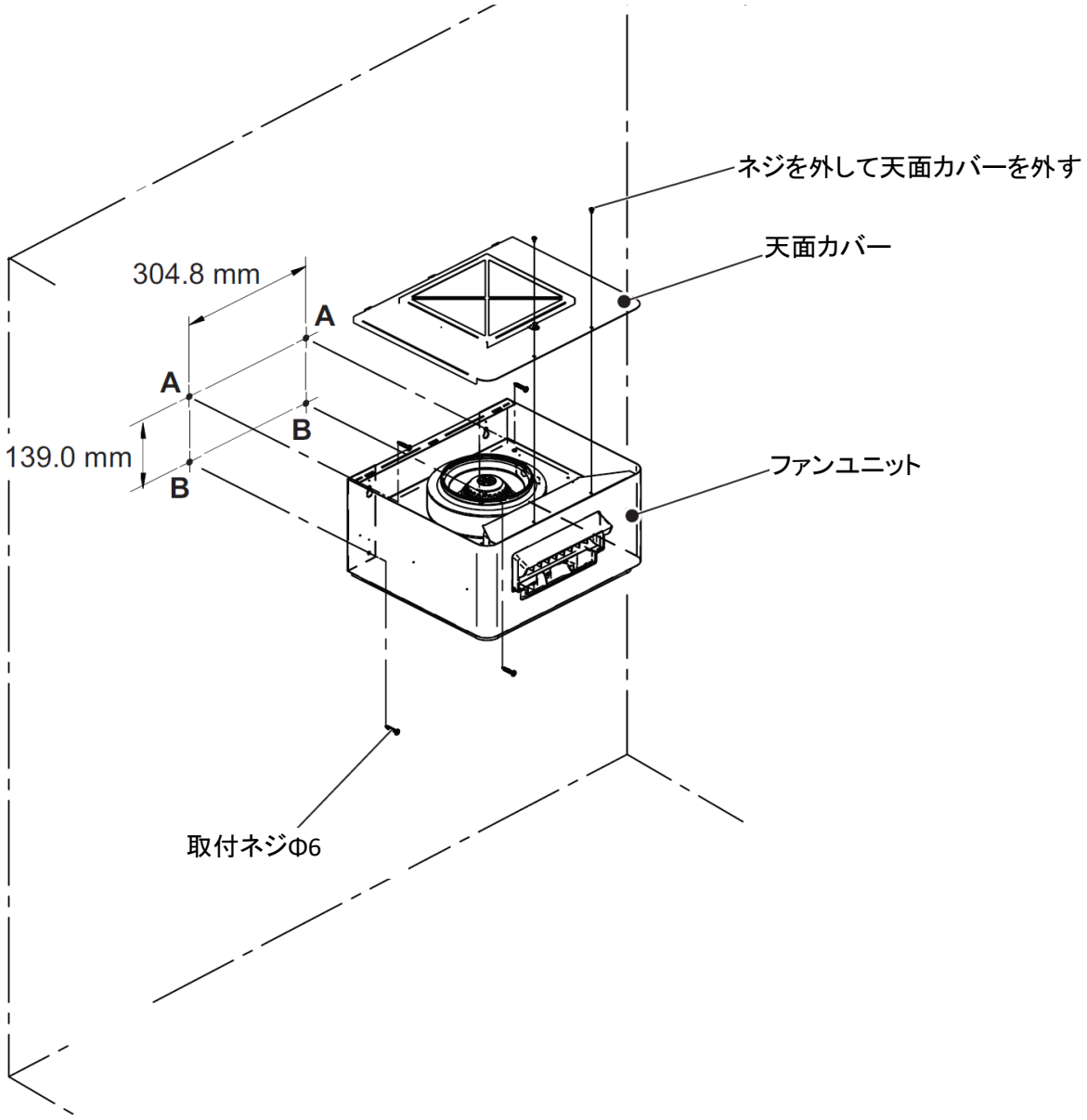


蒸気接続管を付属のM4×16ネジ 3本で固定します

4. 取付方法

4-2 壁面への取付

下図 A.Bの位置に穴を開け、付属のΦ6ネジ4本で固定してください。(下穴Φ10mm 深さ50mm)



注意

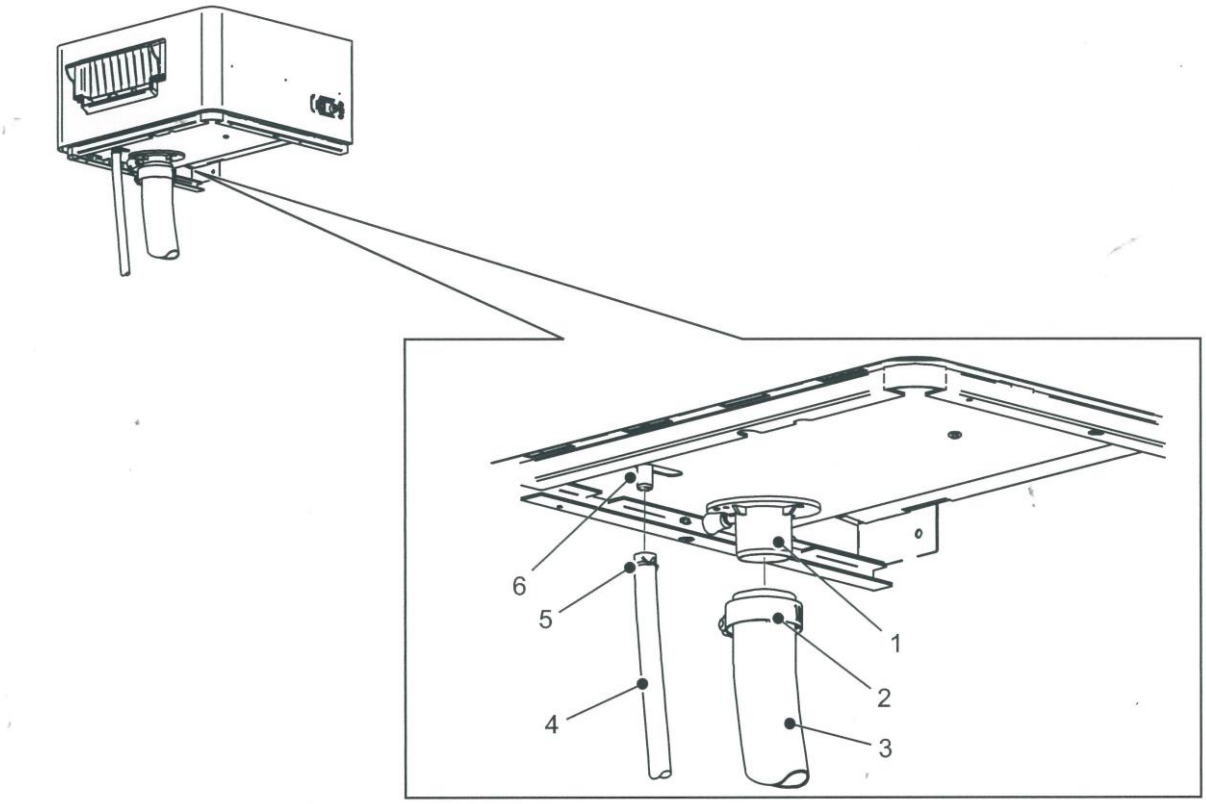
・蒸気ホースの長さが4m以内に納まるように取付け位置を選定して下さい。

・振動の影響を受けない強固な壁・架台などに取付けて下さい。
グラグラするアングル枠や空調機側面に設置すると、振動で樹脂が割れ水漏れの恐れがあります。

・天井からは0.5m位空けてください。(強風で運転時)　弱風の場合は1.5m位必要になります。
但し、高い所に設置すると、メンテナンス時に高所作業車やローリングタワーが必要になります。
脚立で作業できる程度のところに設置してください。
側面や底面が空いていないとメンテナンスが困難になります。

4. 取付方法

4-3 ホースの接続

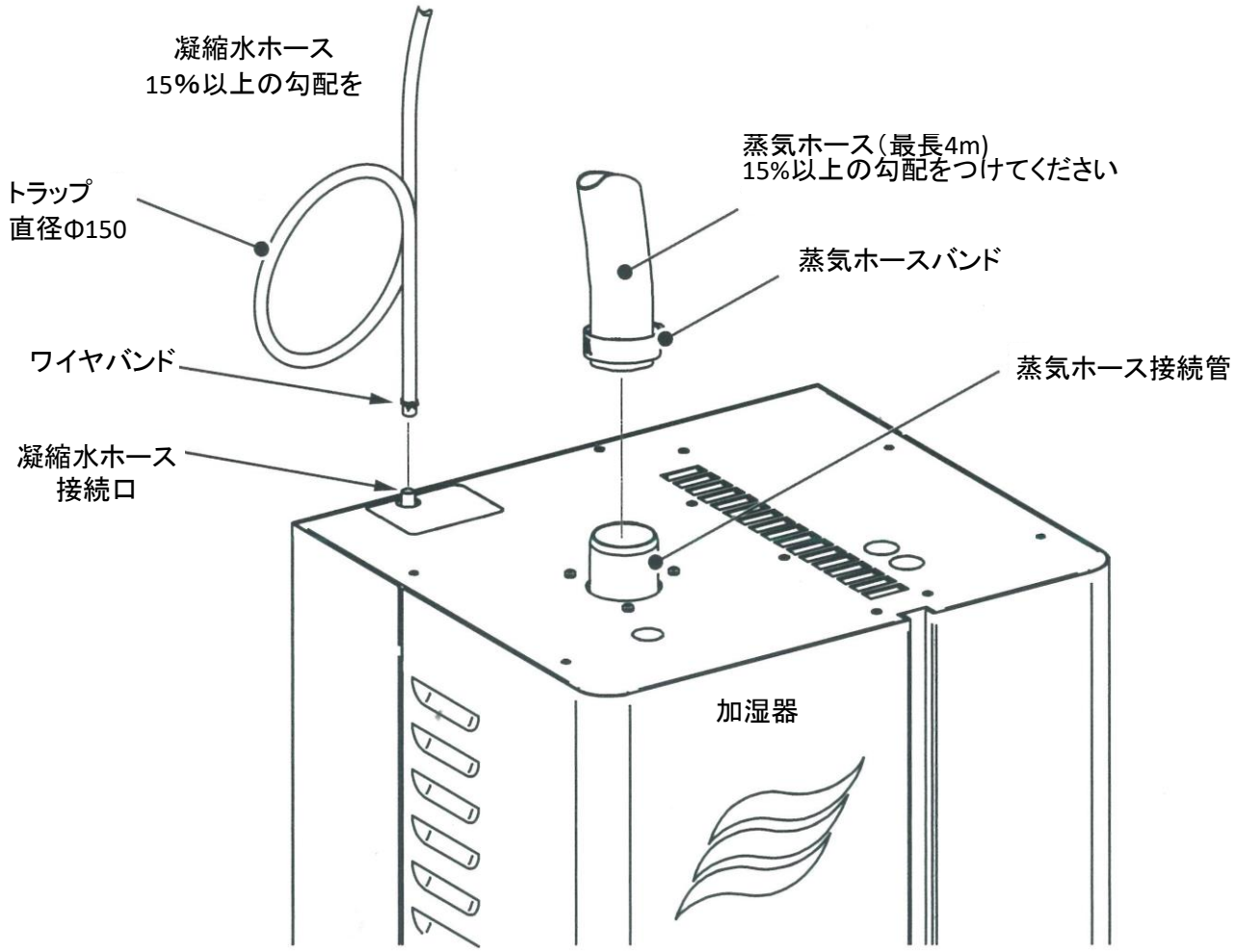


1 蒸気ホース接続口Φ45
2 蒸気ホースバンドDS80用
3 蒸気ホースDS80(内径Φ45)
4 凝縮水ホース Φ8/Φ12
5 ワイヤバンド
6 凝縮水接続口

蒸気ホースと、凝縮水ホースを上図のように接続します
蒸気ホースは別途手配が必要です。

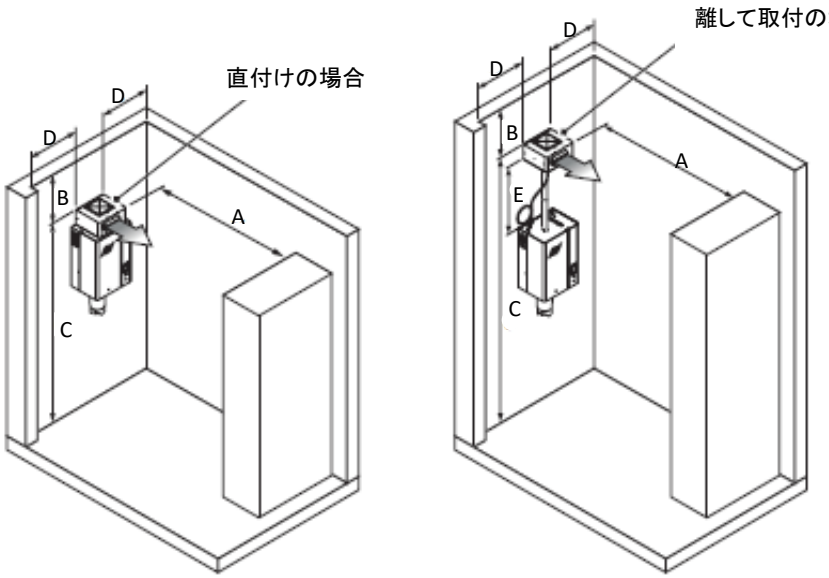
4. 取付方法

4-4 加湿器へのホース接続



上図のように、凝縮水ホースは直径Φ150位のトラップをつけて、加湿器天面の接続口に接続してください。

4-5 取付スペース

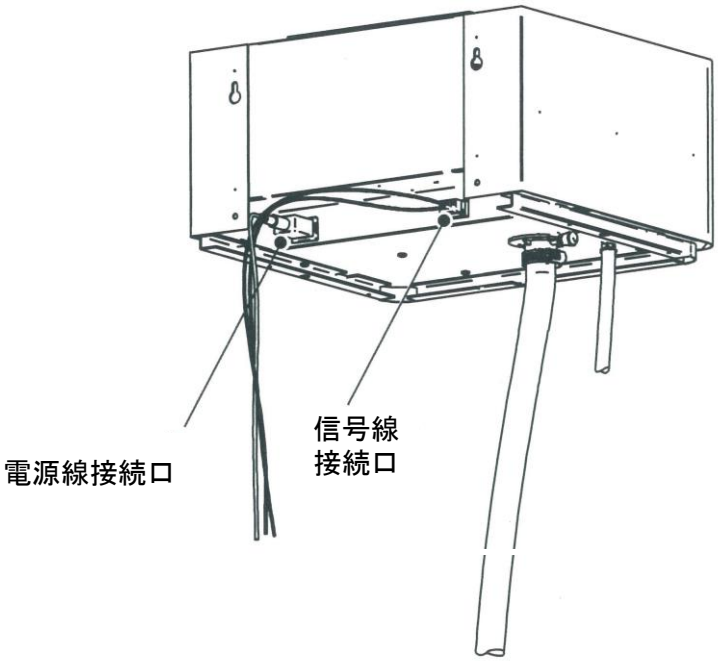


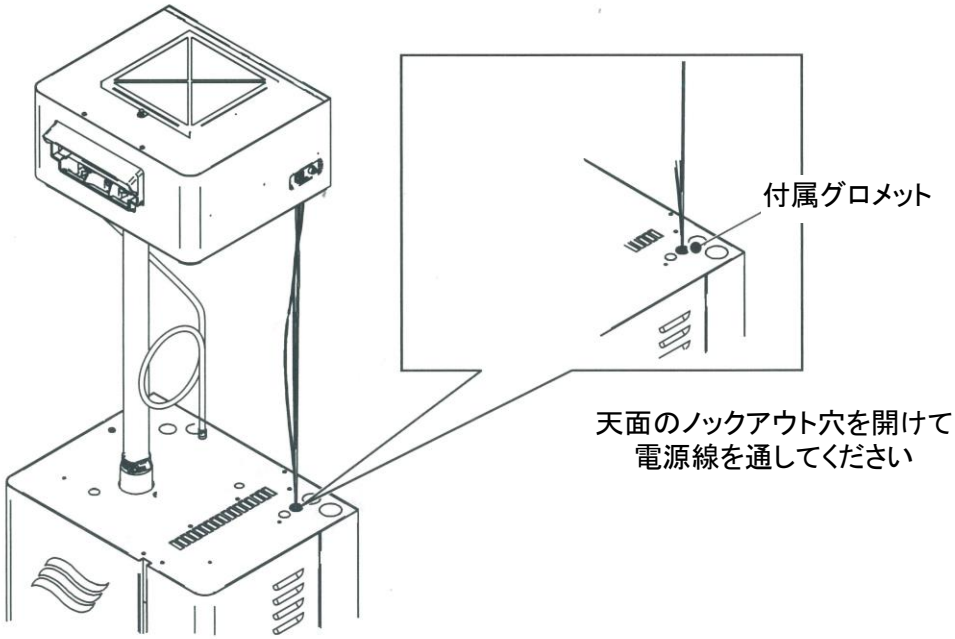
加湿量 (kg/h)	5 ～ 10	10 ～ 20	20 ～ 30
A min (m)	2.0	3.0	4.5
B min (m)	0.5		
C min (m)	2.2		
D min (m)	0.5		
E (m)	min:1.0 / max:4.0(推奨2.0)		

※ファンスピードは 強
標準状態で15℃、60%RHの場合

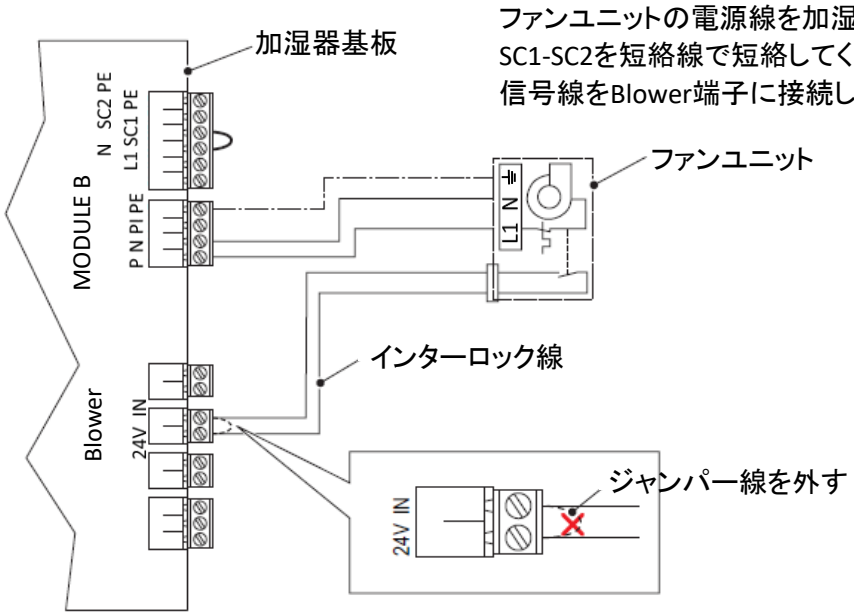
4. 取付方法

4-6 電気配線





ファンユニットの電源線を加湿器のMODULE Bへ接続し、
SC1-SC2を短絡線で短絡してください。
信号線をBlower端子に接続してください。

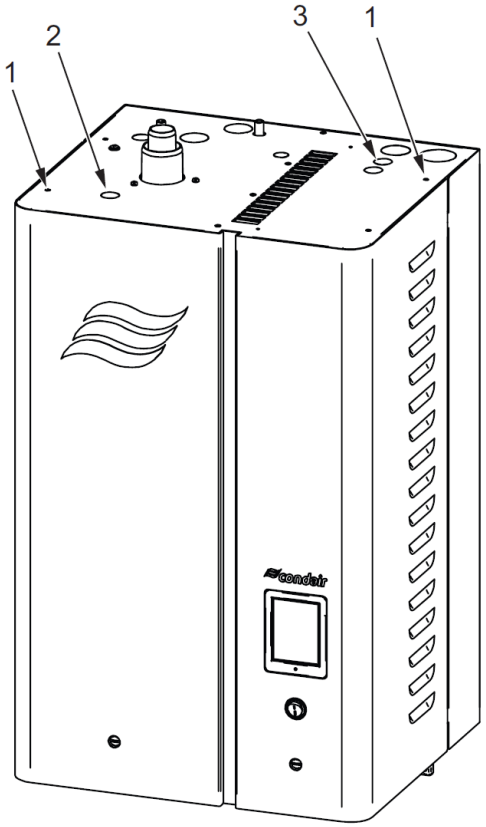


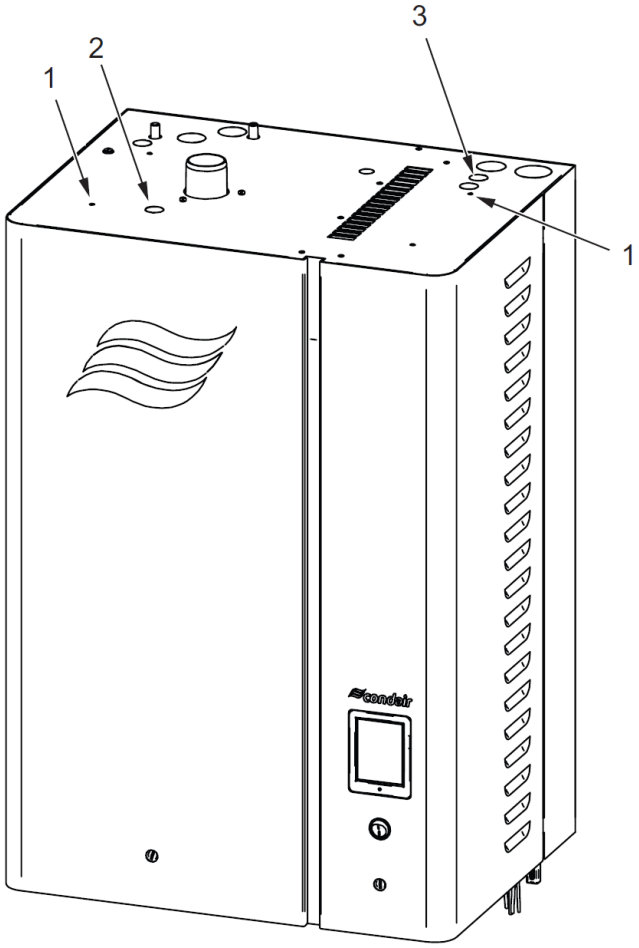
4. 取付方法

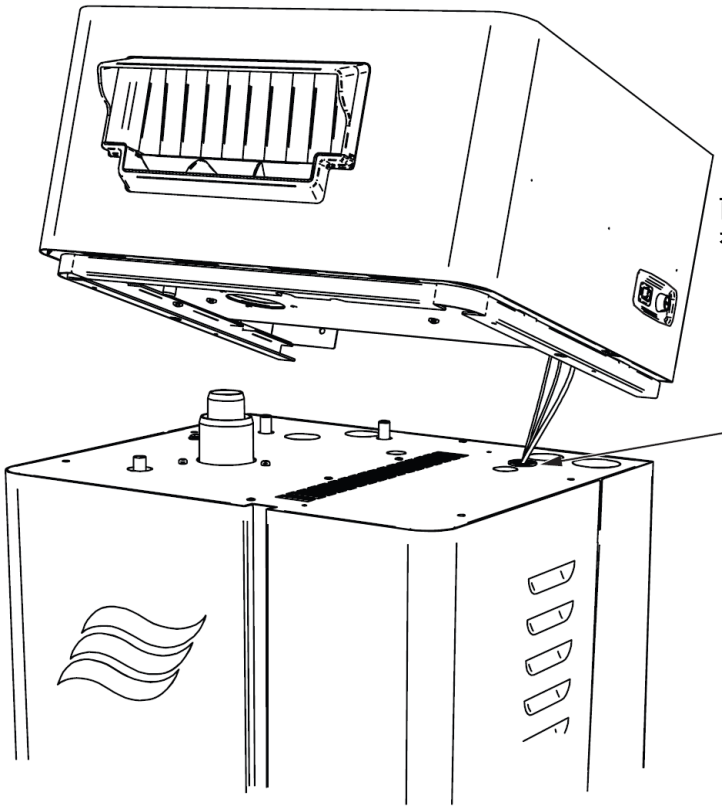
4-7 加湿器直付けの場合

下記3か所のノックアウト穴を開けてください。

1. ファンユニット取付穴
2. 凝縮水ホース貫通穴
3. 電線貫通穴





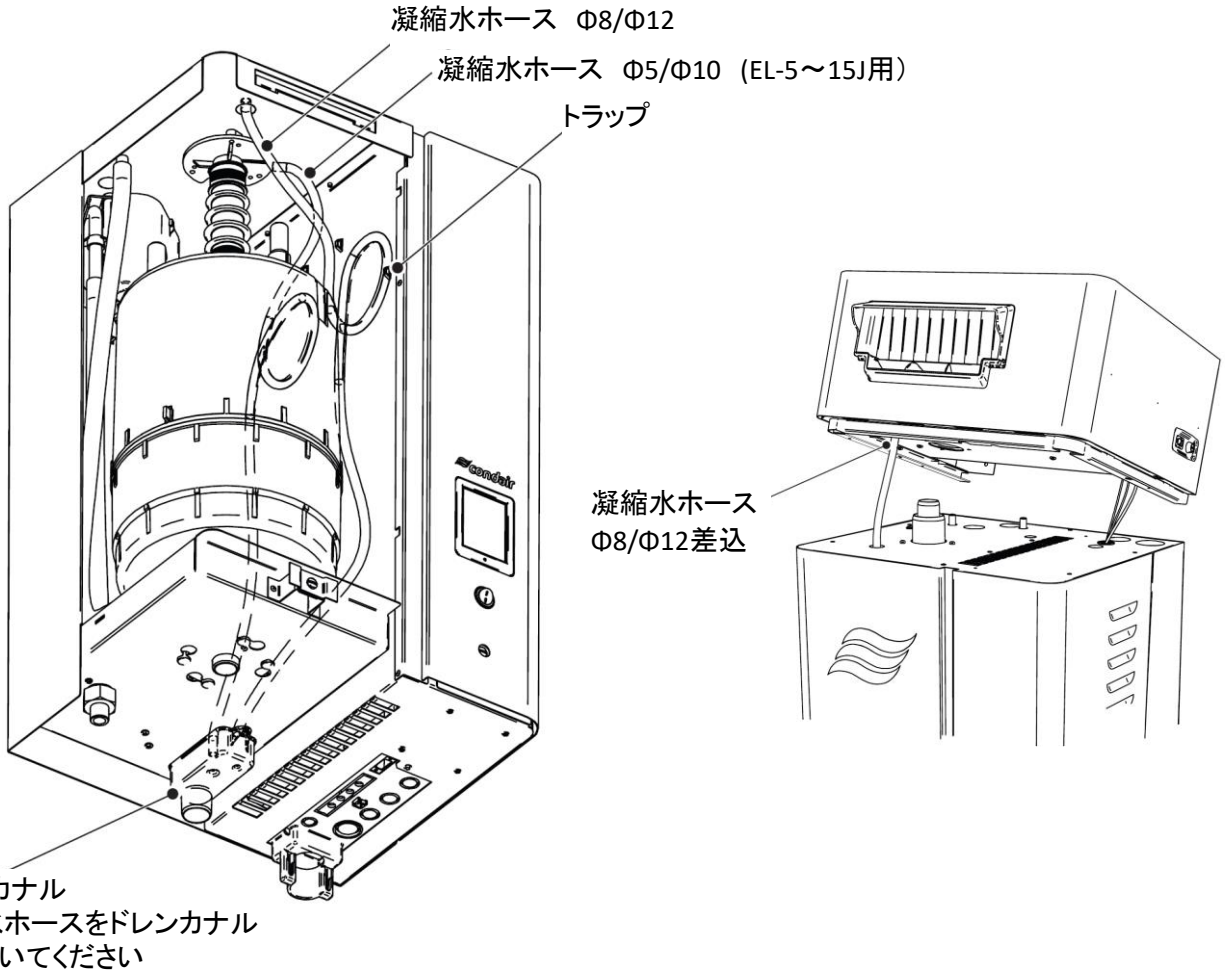


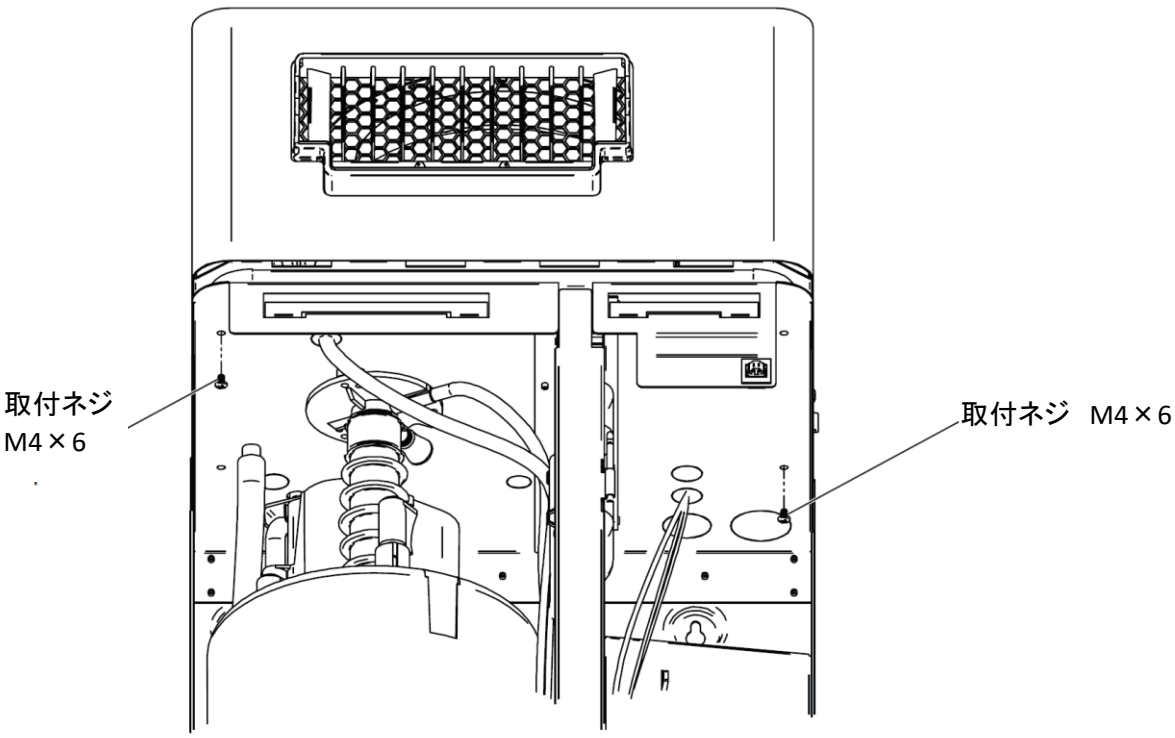
前ページを参照し、電源線と信号線
を背面側に差し込んでください

付属グロメットをはめてください

4. 取付方法

4-7 加湿器直付けの場合





5. 試運転

・加湿器を運転し、蒸気が吹出し口から出始めると内部の発停スイッチがオンになり、
ファンが回ります。
加湿器が停止後、ファンは残留運転を行い、冷えてくると停止します。
この動作を確認してください。

・通常は強弱切替スイッチは強風で使用します。
弱風は天井などに結露しないか確認した上で切り替えてください。
強弱切替スイッチは本体右側面にあります。

・ファンユニットからボコボコという音がする時は、蒸気ホースがつぶれているか、
凝縮水ホースがつぶれている恐れがあります。
これらの状態を確認してください。

・1時間以上運転し、ファンユニット、ホース、加湿器から水漏れしていないことを確認してください。

・様子がおかしいときは、13ページの 「8.異常な時」を参照し、確認してください。

6. 運転方法

・加湿器を運転すると、ファンユニットは自動的に運転します。
蒸気が吹出し口から出始めると内部の発停スイッチがオンになり、ファンが回ります。
加湿器が停止後、ファンは残留運転を行い、冷えてくると停止します。

・ファンユニットの電流ヒューズが溶断すると、インターロックリレーがオフになり、加湿器の運転は停止します。

・様子がおかしいときは、13ページの 「8.異常な時」を参照し、確認してください。

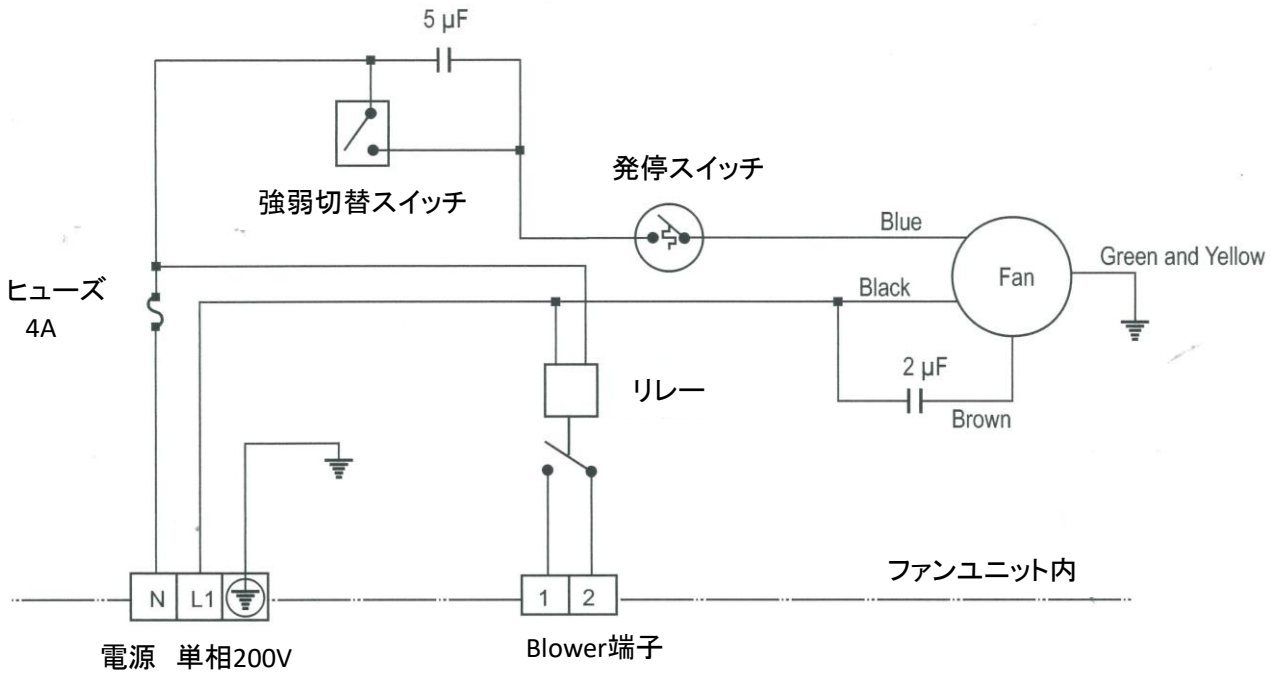
7. メンテナンス

項目	期間	作業
水漏れの確認	毎年使用開始時	加湿器、ファンユニットからの水漏れが無いことを確認してください 水漏れ部は交換、増し締めをしてください
フィルターの清掃	毎年使用開始時	掃除機でフィルターを清掃してください 汚れていると風量が低下します
フィルターの交換	2年毎 又は毎年	2年毎にフィルターを交換してください 又は、状況により毎年交換してください
電源線の増し締め	毎年使用開始時	電源線の増し締めをしてください 変色していたら交換してください
全体の清掃	毎年使用開始時	本体、ファン、吹出し口を清掃してください 固く絞った雑巾で拭いてください
Oリングの交換	2年毎	2年毎にOリングを交換してください
蒸気接続管の交換	2年毎	2年毎に蒸気接続管を交換してください
ホースの交換	2年毎　または1万時間	どちらか短い期間で交換してください
ディストリビュータの交換	2年毎	2年毎にディストリビュータを交換してください
発停スイッチの交換	5年毎	5年毎に発停スイッチを交換してください

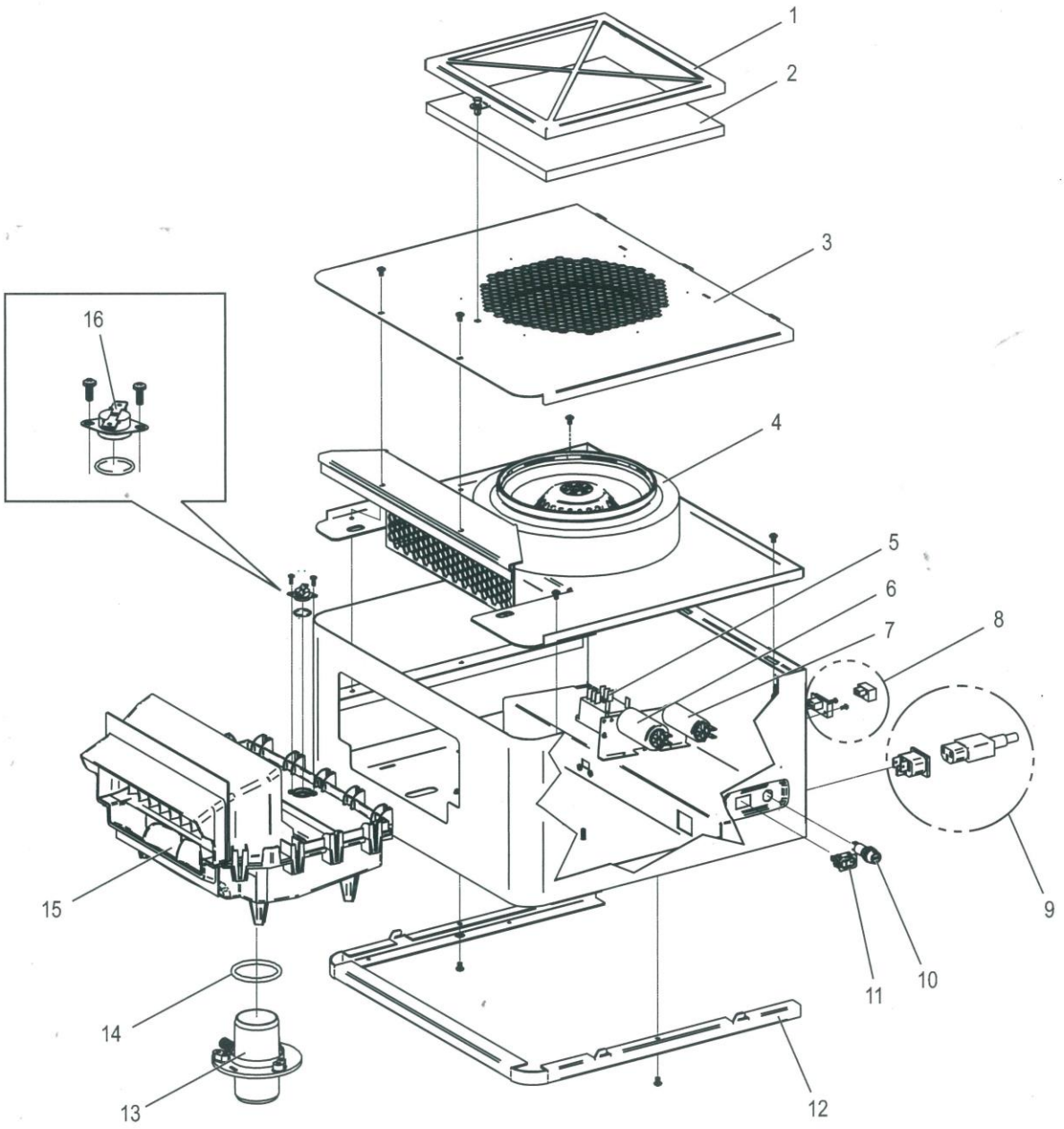
8. 異常なとき

状況	原因	対処方法
ファンが回らない	蒸気が出始めるとファンが回ります 電源が来ていない	蒸気が出るまで待ってください 電流ヒューズ(4A)を確認してください 加湿器の出力を確認してください
加湿器は運転しているが ファンが回らない	蒸気ホースが折れている 発停スイッチが故障している 起動用コンデンサ(2μF)の故障 天板がファンに接触している	蒸気ホースの折れ、つぶれを確認してください 発停スイッチを交換してください 起動用コンデンサ(2μF)を交換してください 天板を奥側へずらして固定してください。
ファンは回っているが 蒸気が出てこない	停止時の残留運転です 発停スイッチが溶着している	冷えるとファンが停止します 発停スイッチを交換してください
加湿器にインターロック オープンの表示がでている	インターロック信号線が接続されていない 電流ヒューズが切れている インターロック用リレーが故障している	インターロック信号線を接続してください 電流ヒューズ(4A)を確認してください インターロック用リレーを交換してください
強弱の切替ができない	切替スイッチが故障している 強弱切替用コンデンサ(5μF)の故障	切替スイッチを交換してください コンデンサ(5μF)を交換してください

回路図



9. 補修部品図



10. 補修部品表

	部品番号	部品名	使用数量	交換時期の目安
1	632579375	フィルターセット（フィルター含む）	1	
2	632579670	フィルター	1	2年
3	632579532	天面カバー	1	
4	632579389	ファン	1	5年
5	632579386	インターロック用リレー	1	5年
6	632579387	起動用コンデンサ ２μF	1	5年
7	632579388	強弱切替用コンデンサ ５μF	1	5年
8	632579391	信号線用コネクタセット	1	10年
9	632579667	電源線用コネクタセット	1	10年
10	632579392	電流ヒューズ 4A	1	5年
11	632579385	強弱切替スイッチ	1	5年
12	632579533	スペーサー	1	
13	632581246	蒸気接続管 Φ45mm（Oリング含む）	1	2年
14	632579681	Oリング	1	2年
15	632579384	ディストリビュータ （Oリング含む）	1	2年
16	632581244	発停スイッチ	1	5年
_	632586478	凝縮水ホースΦ8/Φ12セット（ワイヤバンド含む）	1	2年

この取付説明書は 2022年4月現在のものです。

本書の内容は予告なく変更することがあります。
本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されております。
本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、
記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡下さいますようお願い致します。

220406 PSK